

平成 28 年 6 月 1 日

京口門だより No. 32

6 月は田植えも終わり、「梅雨に入る日本列島硝子ごし」(堀米秋良)

湿度の高いこの季節は、関節の痛みで悩まされる時期でもあります。慢性関節リウマチの方はとくにこの時期には調子が悪くなることをよくご存じです。あるいは変形性関節症で膝や股関節、足関節、手の関節などの痛みや腫れに悩まされます。慢性関節リウマチと変形性関節症は全く別の病気で、変形性関節症はたいがい片方の関節に起りますが、リウマチは対称性に起こることが多く見られます。同じように関節が痛み、腫れますが、発熱を起こすのはリウマチのほうです。またリウマチは免疫的な異常を伴いますが、変形性関節症では軟骨や骨の劣化のみで、免疫とは無関係です。よく膝の関節が腫れて痛みますが、リウマチでは関節に熱をもちます。ごく初期の関節の炎症のときには、リウマチと見ただけでは区別しにくいこともありますが、最近是非常に感度の高い抗 CCP 抗体という検査がありますので区別されます。

現代医学では変形性関節症には鎮痛剤の内服や関節注射をおこない、関節の負担軽減のための補助療法などをし、慢性化して治らない場合は手術で人工関節術を行ないます。整形外科的にはそのような方法しかないと思われていますが、私は是非、漢方薬や鍼灸治療をお勧めします。漢方では関節は風と湿と寒によって起こってくると考えますので、関節の腫れ(湿)を除き、冷えを温めて血行を良くし、痛み(風)を除くお薬を用います。たとえば変形性膝関節症では、防己黄耆湯や越婢加朮附湯などをもちいます。さらに鍼治療やお灸の治療を加えると、いっそう効果的で、ずいぶんいろいろな方がこのような治療で良くなっておられます。整形外科ではお灸など感染を起こすからもってのほかだと言いますが、それはお灸というものをよくご存じないからです。経験したこともないものを頭ごなしに否定する態度は感心したものではありません。また、健康食品などでコンドロイチンやヒアルロン酸が有効であるようにいわれますが、権威のある現代医学の研究でもまだ議論のあるところで、確実なものとは言えません。

変形性関節症でも膝関節ばかりでなく、股関節や手指関節のヘバーデン結節などにも有効な漢方薬があります。

